

「第3回県立高校の再編整備に関する意見を聴く会」の実施結果について

1 日程・参加者等

地域	小 豆	東かがわ・さぬき	高 松	中 讃	三豊・観音寺
日時	2月2日(月)	2月3日(火)	2月5日(木)	1月29日(木)	1月26日(月)
	18:00~20:00	19:00~21:00	19:00~21:00	19:00~21:00	19:00~21:00
会場	土庄町中央公民館	さぬき市寒川 農村環境改善センター	社会福祉総合センター	丸亀競技場会議室	観音寺市民会館
	(土庄町)	(さぬき市寒川町)	(高松市番町)	(丸亀市金倉町)	(観音寺市坂本町)
参加者	18名	22名	49名	41名	27名
一般傍聴者	134名	8名	2名	7名	24名

2 意見(抜粋)

○小豆地域

- ・若い幼稚園・保育所の世代では、高校再編を検討していることすら知らない人が多い。将来直接影響を受けるこのような世代からの意見も聴くべきである。
- ・1校になった時に、通学の便で両町間に偏りが出ることが不安である。
- ・教育ができない地域で子育てはできない。子どもがいなくなれば地域は衰退する。
- ・通学費補助や、寮の設置などの案を持ってきたうえで、再編の話をするべきである。

○東かがわ・さぬき地域

- ・東讃にも福祉科などの学科を新設し、この10年間で検証してみるのはいかがでしょうか。
- ・学校を少なくしないといけないのは理解できるが、通学面で子どもに負担のかからない学校配置にして欲しい。
- ・社会のニーズをどのように補足しているか。高校では、技術的なことよりも基本的なことを教育すべきではないか。
- ・小中高の一貫教育は考えられないか。

○高松地域

- ・全国的に公立高校の学力低下が目立つ。進学に特化した中高一貫教育を考えるべきである。
- ・県の商工労働部とも連携して教育方針を立てる必要がある。
- ・幼保小中高関係者から代表者を呼び、意見を聴く場を設けることを提案する。

○中讃地域

- ・統合を検討する際には、必要となる施設整備も含めて検討を行い、両者の間にタイムラグがないようにすべきである。
- ・普通科志向が強い中で、現状の普職比率を見直す必要はないか。
- ・生徒減少期には、ひとつの学校で、普通科や工業科、農業科などさまざまな選択肢を持つ総合高校が望ましい。
- ・実業系の高校でも進学対応のカリキュラムを組んでいることをPRすべき。
- ・入学試験は一発勝負ではなく、複数の受験機会が与えられるようにしてほしい。

○三豊・観音寺地域

- ・普通科と農業科の統合は無理がある。職業学科同士の統合が望ましいのではないか。
- ・入学後にさまざまな選択肢がある学校が理想的である。その点からは、複数の学科の集まった総合高校が魅力的である。
- ・統合後の学校の位置によっては、中讃地域への生徒流出がいつそう進む恐れがある。
- ・教育は、国家百年の大計である。中高一貫教育のように、取り入れたものをすぐに取りやめるといことがないよう慎重に決めて行く必要がある。